

～ひだまり～

第3学年だより

第 25 号

第3学年 学年目標

伸ばせ学力 鍛えよ心

道徳の授業で考えたこと

先週から今週にかけ、道徳の授業で「決まりを守ること」「暴力に打ち勝つ強い心」「国際社会に貢献する」などをテーマに、たくさん考えもらいました。生徒が考えたことを、一部抜粋してお伝えします。

「二通の手紙」を読んで ~あなたは「きまり」と、どう付き合っていきますか~

- ・全員が楽しく生きられる世の中にするために、しっかりと守って向き合うことが大切だと思った。
- ・善悪の区別をつけて、状況に合わせてきまりを守る。自分だけではなく、他の人たちの状況も考える。
- ・きまりは守らなければいけないし守ることだが、時と場合によっては、きまりを守る方が誰かを不幸にすることもある。自分で正しい判断、選択をすることが大切だと思った。
- ・「きまり」の中で、相手を傷つけないようにしたいです。また、自分が後悔しないような判断をしたいです。
- ・校則とか、我慢しなきやいけないことは守る。破つてしまったら深く反省する。
- ・自分がルールを守ることによって損をしたり、嫌な思いをするとしても、守ることで多くの人が過ごしやすくなる。これからもきまりを守った生活をしようと思った。
- ・自分の身の安全と幸せを守るために、しっかりと「きまり」に従って生きていく。
- ・普段の生活ではきちんと守るけど、時には深く考えて行動しないといけないこともあると思うので、状況をしっかり見極めて過ごしていくこうと思う。
- ・守らなければいけないことは守るけど、おかしいルールには反対していくのがいいと思う。
- ・きまりを守ることは人として大事なことであると思うから、人からの信頼や信用を失わないようにしていきたい。
- ・そのきまりが、何のためにあるのかをよく考えて行動する。
- ・「きまり」は自分や全体を守るためにあると思うので、できる限り守りたいし、守ってほしい。でも、時に「きまり」は一定数の人が損したり、苦しんだりすると思うので、適度に形を変えてもいいのではないかと思った。
- ・一人が一つのきまりを破つてしまうと、みんなに迷惑がかかってしまう。自分がいい思いをすることだけを考えすぎてルールを破る、といろんな人が嫌な思いをするかもしれないことを忘れず、決められたルールは守っていきたい。
- ・きまりは守るもの。きまりがあるから自分が抑えられてしまうのではなく、きまりがあるからこそ、どうすればきまりを破らずに自分らしいられるのかを考えながら、生きていく必要がある。
- ・これからもきまりは守って生きていかなければならないし、どれだけ邪魔だと思う時がきても、それが自分たちにとって良いこともあるので、上手く付き合っていこうと思った。
- ・きまりを守るということは、何かを我慢しなければいけないし、面倒くさいけれど、みんなも自分と同じように我慢していることを考えたら、前向きな気持ちで「きまり」に向き合えるようになると思った。これからも「きまり」を守って生活したい。

修学旅行について

～保護者の皆様から多く寄せられたご質問に回答します～

①行程・交通費・拝観料等は、19日発行の学年だよりでお知らせします。また、現在、生徒自身で「しおり」に書き込んでいます。

②初日の服装は【学校指定の夏の標準服（半袖ポロシャツ・半そでワイシャツ）】といいたします色は白でも紺でも構いません。

③暑熱対策としての日傘の使用については、怪我やトラブル防止のため、混みあう場所での使用はしないこと、周囲に配慮しながら使用することを条件に、持ってきてよい物とします。荷物を減らすため、晴雨兼用のものが望ましいです。

今 後 の 予 定	日	予 定
	15(月)	敬老の日
	16(火)	生徒朝礼
	17(水)	中間考査(理・英) 給食なし
	18(木)	中間考査(国・社・数)
	19(金)	⑥総 後期委員会・係決め

「本とペンで世界を変えよう」を読んで ~生徒の感想から~

マララさんは、なぜ、命の危険を顧みずに、ブログを発表したのでしょうか

- ・学校が破壊され、行くことができなくなってしまった、自由が奪われてしまったことを伝えたかったから。命の危険があったとしても、私たちの「教育を受けたい」という思いを伝えたかったから。
- ・自分の声を世界のみんなに聞いてもらえると信じていたから。ずっと女の子が学校に行けなかったらダメだと思ったから。もし、死んだとしても、ブログに発表したことがその後に影響を及ぼすと思ったから。
- ・自分のことよりも、他の子どもや女性が、教育を受ける権利を得るため。
- ・命よりも教育を受ける大切さを伝えたかったから。未来の子どもたちや今生きている子供たちが全員、差別なく教育を受けられる世の中にしてあげたいと思っていたから。
- ・世界中の子どもたちが、ちゃんと教育を受けられるようにしてほしい、という強い思いがあったから。
- ・マララさん自身が危険にさらされることよりも、多くの人々を助けたい気持ちが強かったから。
- ・いつ襲われるかわからない状況で、普通なら怖くてできないのが当たり前なのに、マララさんは偽名を使って強い意志で発表したのだと思います。
- ・マララさんが、武装勢力に立ち向かうための最も影響力が強い手段がブログであったから。マララさんは多くの人の命や教育の機会を奪う武装勢力に対し、自らの手で、立ち向かうことを決意していた。
- ・自分から物事を発信していくことで、世界の武装勢力や教育方法を変えられるのではないかと思ったから。
- ・自分の伝えたいことを、命に代えてでも伝えたいと思ったから。

世界で起きている問題に対して、あなたができることは何でしょう。

- ・まずは現状を知ることが大切だと思います。自分が社会的な問題を知ることで、他の人にも伝えていくことができるからです。
- ・私の国では2024年に学生抗議運動があり、多くの学生が正義を求めてなくなりました。私はその時のことを思い出しました。友達の友達が勝利を勝ち取ろうとして、政府に射殺されたとは想像もできません。マララのしたことは最も勇敢なことでした。
- ・地球温暖化の抑制のために取り組んだり、戦争が起きないような世の中にするために何をしたらよいか考えさせられた。一人の行動で、解決できるような問題も世の中にはあるから、勇気を出しちゃってもいいかなって思った。
- ・同じ年の女の子が、自国のために声を上げていることに感動した。教育を受けることは、ただ机に向かうことだけでなく、世界の問題を解決する程、重要なものだと知った。これからは自ら学んで習うことが必要不可欠だと思った。
- ・マララさんのように自分の思いを心の中で思うだけではなく、声を上げ、世界に訴えると、一人の勇気ある小さな行動で、世界を変えることができる。一人だけでなく、大勢で行動したら変化をもたらす事ができるため、私も様々な場面で、発言をしたり、主張したりしていきたい。
- ・心の中で思っているだけではなく、友達に対しても自分の意見を言う。そんな小さなことで変えることができるんじゃないかと思った。思うだけでなく、伝えることが大切だと思った。私にできることは、自分だけでも行動に移すことだと思った。
- ・マララさんのような影響力や行動力は私にはきっとない。でも、世界中で今、何が起こっているかちゃんと知って、様々な取り組み(SDGsとか)を少しでもいいから意識してみる。後はちゃんと学校へ行ってちゃんと授業を受けようと思いました。私が学校に行くのはありがたいんだな。教えてくれる先生とか、行かせてくれている親とかにも感謝しようと思いました。
- ・たった一人の声でも世界中を動かせると知って驚いた。武力で解決するのではなく、話し合いをして解決するのが、国という規模の争いでは大事だと思った。各地で起きている戦争や差別などに対して、まずはその国について知る。マララさんのように教育を受けて知識を得ることが大事だと思った。その国について知らなければ、なぜ、戦争や差別が起きているのか分からないし、何もできない。
- ・教育を受ける権利を存分に使い、学んだことを直接的だけではなく、間接的でもいいから誰かに共有する。世界中で起きている紛争、デモ、戦争などについて知る。そして平和学習をしっかりやる。